

平成20年3月の火災・救急・救助ニュースについて

火 災

1 火災概況

は減を示す

区 分	本 3 年 月	前 3 年 月	本 累 年 計 A	前 年 同 期 累 計 B	増 減 A - B
出火件数合計(件)	10	36	35	75	40
建物火災	3	10	15	25	10
林野火災	1	11	3	17	14
車両火災	1	3	3	7	4
船舶火災	0	0	0	0	0
その他の火災	5	12	14	26	12
建物焼損床面積(m ²)	11	77	1,084	426	658
損害額合計(千円)	290	3,783	52,618	24,196	28,422
死者(人)	0	0	3	2	1
負傷者(人)	0	1	7	6	1

火災原因損害調査中のものがあるため床面積・損害額には変更があります。

2 出火原因

区 分	本 3 年 月	本 累 年 計	区 分	本 3 年 月	本 累 年 計	区 分	本 3 年 月	本 累 年 計
たばこ	0	1	排気管	0	0	灯火	0	0
こんろ	0	1	電気機器	0	0	衝突の火花	0	0
かまど	0	1	電気装置	0	0	取灰	0	0
風呂かまど	0	0	電灯・電話等の配線	0	0	火入れ	1	1
炉	0	0	内燃機関	1	1	放火	1	3
焼却炉	0	0	配線器具	0	0	放火の疑い	0	3
ストーブ	0	2	火あそび	0	0	その他	2	3
こたつ	0	0	マッチ・ライター	1	1	不明・調査中	4	12
ポイラー	0	0	たき火	0	6	合 計	10	35
煙道・煙突	0	0	溶接機・切断機	0	0			

【住宅用火災警報器が義務設置になります】

3月は建物火災が3件発生し、3件とも住宅から出火しました。

本年3月までの火災件数累計は、前年同期と比べると40件の火災が減少しています。しかし、死者については、昨年より1名増加しています。みなさんも火の取扱いには十分注意しましょう。

なお、本年6月1日からは住宅用火災警報器が義務設置となりますので、お早めの設置をお願いします。

救 急

1 救急概況

区 分	本 3 年 月	前 3 年 月	本 累 計 年 A	前 年 同 期 累 計 B	増 減 A - B
出 動 件 数	979	989	2,980	2,735	245
搬 送 件 数	914	925	2,775	2,534	241
不 搬 送 件 数	65	64	205	201	4
搬 送 人 員	937	950	2,841	2,624	217

2 事故種別出動件数

区 分	本 3 年 月	本 累 計 年	区 分	本 3 年 月	本 累 計 年
火 災	1	12	一 般 負 傷	146	424
自 然 災 害	0	0	加 害	8	23
水 難	1	1	自 損 行 為	11	34
交 通	128	340	急 病	584	1,870
労 働 災 害	7	21	そ の 他	86	245
運 動 競 技	7	10	合 計	979	2,980

【救命講習を受けましょう】

いざというときに備えて、津市消防本部では、みなさんに応急手当を習得していただくため、救命講習を行っています。

救命講習のうち、普通救命講習の場合は3時間の講習で、人工呼吸や胸骨圧迫、AED(自動体外式除細動器)、止血法などの基本的な救命技術を習得できます。

なお、上級救命講習会(8時間)も、年4回実施しています。

普通救命講習会(いずれも午後1時～4時)

奇数月の第2日曜日 中消防署(226-2580) 第4日曜日 白山消防署(262-1044)

偶数月の第2日曜日 久居消防署(254-1111) 第4日曜日 北消防署(232-3092)

救 助

1 救助概況

は減を示す

区 分	本 3 年 月	前 3 年 月	本 累 計 年 A	前 年 同 期 累 計 B	増 減 A - B
出 動 件 数	14	15	35	39	4
活 動 件 数	7	6	21	20	1
救 助 人 員	10	15	29	29	0

2 事故種別出動件数

区 分	本 3 年 月	本 累 計 年	区 分	本 3 年 月	本 累 計 年
火 災	1	5	建物等による事故	1	4
交 通 事 故	9	21	ガス及び酸欠事故	0	0
水 難 事 故	3	3	破 裂 事 故	0	0
風水害等自然事故	0	0	そ の 他 の 事 故	0	2
機械による事故	0	0	合 計	14	35

【シートベルトを着用しましょう】

本年4月までの救助出動件数累計は、前年同期と比べると4件の増加となっています。事故種別出動件数をみると圧倒的に交通事故が多くなっています。あなたも車に乗る時には、交通ルールを遵守し、必ずシートベルトを着用しましょう。